



社会情報学研究科

Graduate School of Social and Information Studies

群馬大学大学院

【修士課程】



国立大学法人 群馬大学
National University Corporation Gunma University

学生募集

年複数回の入学試験を行います。いずれの入学試験も、新卒(既卒)受験者向けの一般入試、社会人向けの社会人入試、本学社会情報学部GFLコース生向けのGFLコース生入試、私費外国人留学生向けの私費外国人留学生入試に分けて合否判定を行います。

▶ 募集人数 社会情報学専攻……14名(社会人、GFLコース生及び私費外国人留学生若干名を含む)

夏季入試(9月)	冬季入試(2月)		10月入学入試(9月)	
10名	4名	次年度4月入学	若干名	当該年度10月入学

各入学試験では、「研究計画書」などの出願書類による書類審査を重視し、面接試験の結果を併せて合否判定を行います。

*出願に当たっては、必ず、第1希望指導教員と相談してください。連絡先については、下記の問合せ先にお問い合わせください。

*受験や共同研究の場合、専門分野や現在の研究テーマを参照して各教員あるいは下記の問合せ先にお問い合わせください。

交通案内

▶ JR両毛線 前橋駅北口 2番乗り場から(開越交通バス)

群馬大学荒牧校由渋川駅行 / 群馬大学荒牧校由渋川市内循環渋川駅行 / 群馬大学荒牧校由小児医療センター行 …… 群馬大学荒牧下車(約28分)
渋川駅行 / 渋川市内循環渋川駅行 / 小児医療センター行 …… 前橋自動車教習所前下車(約25分+徒歩10分)

▶ JR上越線 渋川駅前から(開越交通バス)

群馬大学荒牧校由前橋駅行 / 渋川市内循環群馬大学荒牧校由前橋駅行 …… 群馬大学荒牧下車(約28分)
前橋駅行 / 渋川市内循環前橋駅行 …… 前橋自動車教習所前下車(約25分+徒歩10分)

案内図



資料請求・照会先



群馬大学大学院社会情報学研究科
教務係(大学院担当)

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4丁目2番地
TEL:027-220-7412 (ダイヤルイン)
E-mail: si-kyomu@si.gunma-u.ac.jp
URL: <https://www.si.gunma-u.ac.jp/daijakuin/>





理念・目標

本研究科は、社会情報学の深化と発展を図り、社会的・時代的な要請を受けて活躍することのできる「高度専門職業人」および「実践的研究者」を養成することを目的とします。

高度専門職業人とは、人文・社会科学、情報科学の知識とそれに基づいた社会的洞察力・状況分析能力・科学的思考能力を駆使して、行政・企業・NPOなどの各種組織において意思決定に具体的・実践的に関与できる人材を指します。

実践的研究者とは、社会情報過程の主体としての人間と情報化の共存という視点に立って、情報化の進展に伴う経済・社会・産業の諸問題や、地域社会における多様な組織の在り方を考究できる人材を指します。

社会情報学の 深化・発展

高度専門職業人の養成

実践的研究者の養成

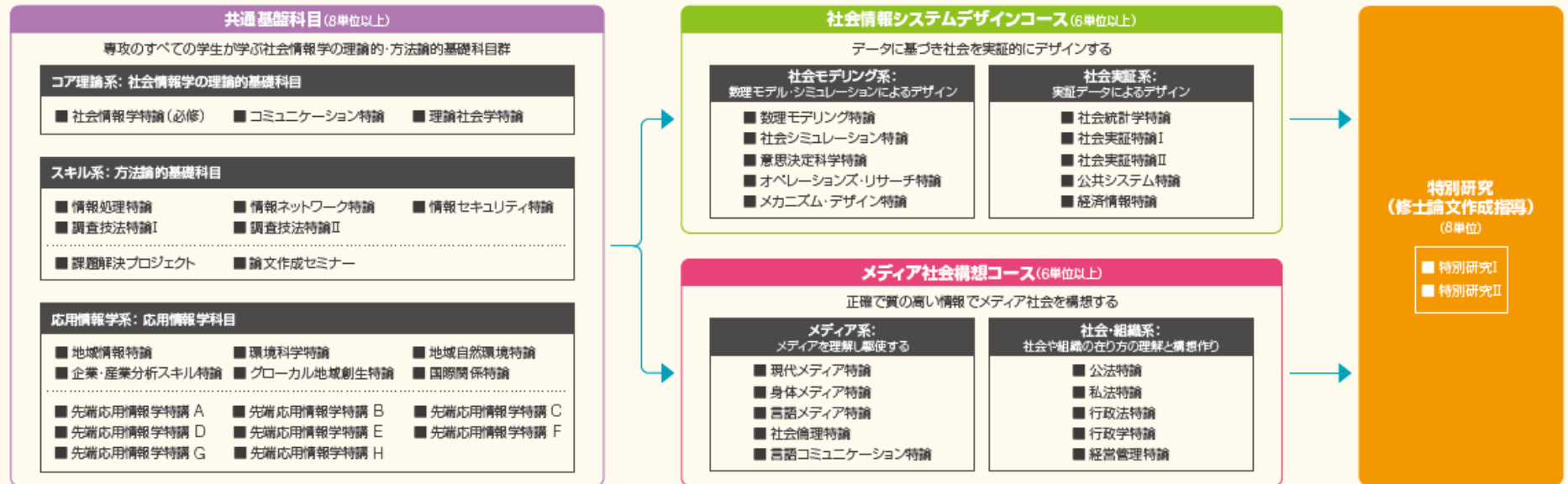
研究科の構成

その目的を実現するために、本研究科は、次の2つのコースを設けています。

▶ **社会情報システムデザインコース** 本コースは、現在の社会における強い求めに応じて強化されたコースです。社会から情報を獲得、分析、結果を報告する力を養うためのカリキュラムを提供することで、科学的に妥当な社会実験・シミュレーションデータの結果に基づいて、社会システムをデザインできる人材を育成します。

▶ **メディア社会構想コース** 本コースは、従来からの本研究科の特色を生かしたコースです。ここでの社会には、企業や行政組織などある目的のため集まった人々(集団)を含みます。メディアは、それを支える電子的な技術や人間本来の言語的・非言語的なコミュニケーションなどを含むより広い概念です。このようなメディアを活用して(質の高い社会的コミュニケーションにより)、人々の価値観を統合して、望ましい新たな社会のあり方を構想できる人材を育成します。

科目区分図



教員・専門分野



平田 知久 准教授
メディアの社会史
比較社会学
近現代思想

私たちは、メディア技術の利用方法の決定が、社会の大神のあり方(グランドデザイン)の決定と深い関わりを持つ時代に生かされています。この研究科で、一緒に社会と技術の「度」をあり方について考え、それを実践してみませんか。



杉山 学 教授
オペレーションズ・リサーチ
経営科学
経営情報学

直観ではなく、社会実験やシミュレーション、ビッグデータやオープンデータの解析結果など科学的な根拠に基づいて社会システムをデザインする。難しいがゆえにやりがいがあり、また、役立つ。そんな社会情報学にあなたのオリジナルなアイデアを付け加えませんか。



末松 美知子 教授
舞台表演論
比較演劇

思考や論理を磨き知識を増やしながら自分で選んだ研究対象に迫っていく一私の人生で大学院時代は至福の時でした。皆さんも社会情報学研究科で「追究」してみませんか。

石川 真一 教授
生態学、環境科学、植物生理学

岩井 淳 教授
情報工学、社会学

伊藤 賢一 教授
理論社会学、情報社会学

新井 康平^{*} 准教授
会計学、会計情報分析、管理会計

吉良 知文 准教授
社会シミュレーション、数理最適化とゲーム理論、人工知能

高山 利弘 教授
日本文学、言語文化

西村 淑子 教授
行政法、環境法

岩井 淳 教授
情報工学、社会学

佐渡 一広^{*} 教授
情報科学、インターネット

柿本 敏克 教授
社会心理学、グループ・ダイナミクス

小竹 裕人 准教授
公共政策論、政策分析

坂本 和靖 准教授
計量経済学、労働経済学

前田 泰 教授
民法学

山内 春光 教授
倫理学:日本倫理思想史、社会倫理想

森谷 健 教授
地域社会学、都市社会学、地域情報論

結城 恵 教授
社会学、グローバル・リーダーシップ学、質的調査法

高木 理 准教授
医療情報学、医療データ分析、形式手法

高木 理 准教授
医療情報学、医療データ分析、形式手法

松井 猛 准教授
最適化理論、意思決定支援、制度設計

井門 亮 准教授
言語学、語用論、関連性理論

大野 富彦 准教授
経営学、経営組織

■ 共通基礎科目担当教員

■ 社会情報システムデザインコース担当教員

■ メディア社会構想コース担当教員

※印のある教員は、選任予定のため希望教員として希望できません。

★印のある教員は、規定により希望教員となることができません。

■ 特別研究I

■ 特別研究II

